

「年の終わりに」の手引き

【決算整理】

原則として振替帳で入力してください。

1 減価償却

年度末（12月31日）に、この画面で建物、車両運搬具、工具器具備品などの固定資産の取得価額と耐用年数を基として、本年分の期間に対応する減価償却費を計算します。

減価償却費は当期の費用として個人事業損益計算書に計上され、同時に同じ金額が個人事業対照表の各固定資産から直接控除されます。

減価償却費の計算方法は、残存価格をゼロとして、原則として定額法で行います。

また、耐用年数、減価償却の方法など詳しい内容については
国税庁の「確定申告書等の様式・手引き等」および「主な減価償却資産の耐用年数表」を参照してください。

資産名	取得価額	耐用年数	期首価額	減価償却費	期末価額
建物					
建物附属設備					
マンション					
車両運搬具					
工具器具備品					

減価償却費＝取得価額÷耐用年数×事業に使用した月数÷12

（例）

建物の取得価額が47,000,000円：耐用年数47年

事業に使用した月数 12か月の場合

減価償却費

47,000,000円÷47年×12か月÷12＝1,000,000円

2 期末棚卸資産

期末棚卸資産の合計金額を計算します。

棚卸資産ごとに振替帳に入力すると、個人事業家庭決算書に入力されます。

棚卸資産の内訳

[illegible]

仕訳

1 期首棚卸資産

左 方

期首棚卸資産

/

右 方

棚卸資産

2 期末棚卸資産

左　方		右　方
棚卸資産	/	期末棚卸資産

振替帳で入力します

(事例)

期首棚卸資産 100
期末棚卸資産 200 の場合

1 期首棚卸資産

左 方		右 方
期首棚卸資産	1 0 0	棚卸資産 1 0 0

振替帳

① 日付	② 内 容	③ 金額	④ 左方	⑤ 右方
1 2 / 3 1	決算整理	1 0 0	期首棚卸資産	棚卸資産

2 期末棚卸資産

左 方

右 方

棚卸資産 200 / 期末棚卸資産 200

振替帳

⑥ 日付	⑦ 内 容	⑧ 金額	⑨ 左方	⑩ 右方
12/31	決算整理	200	棚卸資産	期末棚卸資産

【事業用家庭決算書】

これで本年度の個人事業家庭決算書が完成します。



「本年度の個人事業家庭決算書を表示する」をクリックします。

「個人事業対照表」のタブをクリックすると本年度の個人事業対照表を見ることができます。

「個人事業損益計算書」のタブをクリックすれば個人事業損益計算書を見ることができます。

当期事業損益は、今年１年間働いて、事業で築き上げた財産の金額を表しています。

個人事業貸借対照表

年次事業用家庭決算書

月を選択: 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 年次

科目をクリックすると元帳が見られます

個人事業貸借対照表 個人事業損益計算書

科目	金額	科目	金額
[資産]		[負債]	
現金	¥ 15,000	*借入金	¥ 20,000
*電子マネー	¥ 60,000	E銀行	¥ 20,000
パスモ	¥ 35,000	*買掛金・未払金	¥ 30,000
スイカ	¥ 25,000	X会社	¥ 30,000
*普通預金	¥ 790,000	*預り金	¥ 20,000
A銀行	¥ 760,000	預り金A	¥ 20,000
B銀行	¥ 30,000	*その他負債	¥ 20,000
*定期性預金	¥ 0	その他	¥ 20,000
*売掛金・未収金	¥ 170,000	事業主債	¥ 10,000
C会社	¥ 100,000	負債の合計	¥ 100,000
D会社	¥ 70,000	[事業財産]	
*棚卸資産	¥ 10,000	資本金(元入金)	¥ 100,000
*その他資産	¥ 0	剰余金	¥ 250,000
事業主貸	¥ 30,000	当期事業損益	¥ 625,000
資産の合計	¥ 1,075,000	事業財産の合計	¥ 975,000
		負債・事業財産の合計	¥ 1,075,000

今月の一言

登録

個人事業損益計算書

年次事業用家庭決算書

月を選択: 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 年次

科目をクリックすると元帳が見られます

個人事業貸借対照表 個人事業損益計算書

科目	合計	累計	科目	合計	累計
[事業収入]			[特別収入]		
売上(税込み)	¥ 0	¥ 0	受取利息	¥ 0	¥ 0
売上(税抜き)	¥ 500,000	¥ 500,000	受取配当金	¥ 0	¥ 0
受取消費税	¥ 50,000	¥ 50,000	臨時収入	¥ 100,000	¥ 100,000
家族収入	¥ 0	¥ 0	保険金収入	¥ 0	¥ 0
期末棚卸資産	¥ 0	¥ 0	雑収入	¥ 0	¥ 0
事業収入の合計	¥ 550,000	¥ 550,000	その他特別収入	¥ 0	¥ 0
[事業費用]			特別収入の合計		
*税金等	¥ 20,000	¥ 20,000		¥ 100,000	¥ 100,000
事業税	¥ 20,000	¥ 20,000	[特別損失]		
自動車税	¥ 0	¥ 0	支払利息	¥ 5,000	¥ 5,000
支払消費税	¥ 0	¥ 0	減価償却費	¥ 0	¥ 0
印紙税	¥ 0	¥ 0	貸倒損失	¥ 0	¥ 0
その他税金	¥ 0	¥ 0	寄託者給与	¥ 0	¥ 0
*通常事業費	¥ 0	¥ 0	雑損失	¥ 0	¥ 0
期首棚卸資産	¥ 0	¥ 0	除却損	¥ 0	¥ 0
仕入	¥ 0	¥ 0	その他特別損失	¥ 0	¥ 0
旅費交通費	¥ 0	¥ 0	特別損失の合計	¥ 5,000	¥ 5,000
水道光熱費	¥ 0	¥ 0	当期事業損益	¥ 625,000	¥ 625,000
通信費	¥ 0	¥ 0			
消耗品費	¥ 0	¥ 0			
新聞図書費	¥ 0	¥ 0			
荷造運賃	¥ 0	¥ 0			
*その他事業費	¥ 0	¥ 0			
給料・賃金	¥ 0	¥ 0			
接待交際費	¥ 0	¥ 0			
福利厚生費	¥ 0	¥ 0			
地代家賃	¥ 0	¥ 0			
保険料	¥ 0	¥ 0			
雑費・その他	¥ 0	¥ 0			
その他	¥ 0	¥ 0			
事業費用の合計	¥ 20,000	¥ 20,000			
営業利益	¥ 530,000	¥ 530,000			

今月の一言

登録

【剰余金の計算】

剰余金は、今まで働いた事業で築き上げた財産の金額です。

来年度開始時の剰余金

本年度の決算書の剰余金（昨年度までに築き上げてきた財産）と当期事業損益（今年築き上げた財産）を合計したものが、来年度の開始時の剰余金になります。

画面では、本年度の決算書の剰余金と当期事業損益、来年度開始時の剰余金が自動的に計算されて表示されます。

年の終わりに

決算整理 | 事業用家庭決算書 | 剰余金 | 来年度の個人事業貸借対照表

本年度の計算が全て終了しました。
来年度の剰余金を求めておきましょう。

期首の剰余金 ①

決算書の当期事業損益 ②

来年度開始の剰余金を算出

来年度の剰余金 ①+②

これで本年度の全ての作業が完了しました。
「次へ」を押すと来年度の個人事業対照表が表示されます。
来年の事業用家庭決算書を作成する際にお役立て下さい。

< 戻る | 次へ > | キャンセル | 年の終わりにの手引き

【来年度の個人事業貸借対照表】

来年度開始時の個人事業貸借対照表が表示されます。
この画面を印刷して、来年度のはじめの個人事業対照を作成する
ときに利用します。

年の終わりに

決算整理

事業用家庭決算書

剰余金

来年度の個人事業貸借対照表

CSVへの書き出し

印刷

科目	金額	科目	金額
[資産]		[負債]	
現金	¥15,000	*借入金	¥20,000
*電子マネー	¥60,000	E銀行	¥20,000
パスモ	¥35,000	*買掛金・未払金	¥30,000
スイカ	¥25,000	X会社	¥30,000
*普通預金	¥790,000	*預り金	¥20,000
A銀行	¥760,000	預り金A	¥20,000
B銀行	¥30,000	*その他負債	¥20,000
*定期性預金	¥0	その他	¥20,000
*売掛金・未収金	¥170,000	事業主債	¥10,000
O会社	¥100,000	負債の合計	¥100,000
D会社	¥70,000	[事業財産]	
*備前資産	¥10,000	資本金(元入金)	¥100,000
*その他資産	¥0	留保財産	¥875,000
事業主貸	¥30,000	当期消費損益	¥0
資産の合計	¥1,075,000	事業財産の合計	¥975,000
		負債・事業財産の合...	¥1,075,000

< 戻る

完了

キャンセル

年の終わりにの手引き